第４回 とやま吃音（きつおん）のつどい ＆個別吃音相談会

日時

2020 年 3 月 29 日（日）
10:30～16:30 （10:00 開場）

つどい・相談会ともに
参加無料

会場

富山県総合福祉会館 サンシップとやま 研修室 601
（富山市安住町 5-21） ※個別吃音相談会の受付は研修室 602

プログラム

午前の部：講演「吃音の基礎知識と対応」
講師：小林宏明（金沢大学教授）
体験談発表、質問コーナー

午後の部：個別吃音相談会 （満員御礼）
定員に達したため予約受付は終了しました。
富山県言語聴覚士会より相談員を派遣して頂きます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プログラムを一部変更しました。

対象

・吃音のある人、吃音のあるお子さんのご家族
・吃音のある人の支援者（教員、言語聴覚士など）
・吃音に関心のある人はどなたでも

ひとりで悩まず、
まずは相談を！

〇赤い羽根共同募金の助成により事業を実施しています〇

主催 富山言友会 ・ NPO 法人 全国言友会連絡協議会（全言連）
後援 富山県、富山市、富山県教育委員会、富山市教育委員会、北日本新聞社
富山県言語聴覚士会、日本吃音・流暢性障害学会

2020.3.16 改訂

吃音（きつおん）とは

吃音とは「言葉がつまりやすい・なめらかに話せない症状」のことで、かつては「どもり」とも呼ばれていました。主な症状は**①繰り返し**（例：おおおおはよう）**②引き伸ばし**（例：おーーはよう）**③ブロック**（例：・・・おはよう）の 3 つがあります。話すときに手や足を動かしたり顔が震えたりする**随伴運動**がともなう場合もあります。

吃音をもつ人は 100 人に 1 人の割合でいると言われていますが、症状の度合いは人によって異なります。

吃音によって引き起こされる問題は、「スムーズに話せないこと」そのものだけではありません。吃ることを恐れるあまり人前で話すことに消極的になったり、「吃る自分」をネガティブに感じて苦悩を深めたりすることが問題の本質です。また、**表面的な症状の重さと心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。**周囲の人からは問題がわかりにくいのも吃音の特徴のひとつです。

言友会（げんゆうかい）とは

言友会は、吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体・当事者団体）として 1966 年に東京で発足しました。個々の吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や、吃音に対する理解を深めるためのイベント開催などの取り組みを行っています。

主に都道府県単位で活動しており、全国に 34 の団体があります。**富山言友会**は北陸でもっとも遅く、2017 年 9 月に発足したばかりの新しい会です。会員それぞれが**「吃音があっても豊かに生きる」**ための方法を見つけるべく、活動を続けています。

プログラム

○吃音のつどい（研修室 601）　申し込み不要

10:00　開場・受付開始
10:30　開会のあいさつ
10:40　講演「吃音の基礎知識と対応」（小林宏明氏）
11:40　休憩
11:50　体験談発表 ・ 富山言友会の紹介
12:10　質問コーナー
12:30　閉会のあいさつ ・ つどい終了

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループトークを中止するなどプログラムを一部変更しました。

○個別吃音相談会（研修室 601）　定員に達しました

①13:30～ ／ ②14:30～ ／ ③15:30～

※1 組につき 1 時間まで。各時間帯の開始 20 分前までに**研修室 602 で**受付をお願いします。

16:30　全イベント終了

会場アクセス

富山県総合福祉会館 サンシップとやま
（富山市安住町 5-21）

・富山駅から徒歩 15 分
・市電「県庁前」から徒歩 2 分
・有料駐車場あり
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

注意事項・お問い合わせ

・個別吃音相談会の受付は終了しました。午前中の講演などは予約不要で参加できます。
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱などの症状のある方は参加をご遠慮ください。
・富山言友会へのお問い合わせは toyama.gyk@gmail.com までお願いします。

2020.3.16 改訂

○シーグリーンは国際吃音啓発色です。